

令和4年度 第5次総合計画施策評価シート【年度初め用】

| | | | |
|------|-----|-------|--|
| 担当部署 | 土木課 | 政策調整課 | |
|------|-----|-------|--|

| | |
|------|--------------------------------|
| 基本目標 | 4 みんなで“活かす”～住み続けられる・魅力あるまちづくり～ |
| 施策 | 17 道路・公共交通 |

| 施策の方向・内容 | | 具体的な事業内容 |
|----------|---------|--|
| 1 | 幹線道路の整備 | (土木課) 道路舗装修繕計画、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、主要な町道の舗装整備、橋梁の修繕工事を行い、道路施設の維持管理に要する費用の平準化と縮減を図る。 |
| 2 | 生活道路の整備 | (土木課) 快適な生活空間の創出のため、地区からの要望に基づき地域の実情に即した道路の整備を図る。また、国道・県道の整備に合わせ、周辺的生活道路における交通安全対策の整備を図る。 |
| 3 | 公共交通の充実 | (政策調整課) 扶桑町の新たな公共交通として、令和4年10月より実証運行を開始する。 |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | | |

| めざそう値・指標名 | 指標の定義 | 基準値(H28) | 実績値 | | | | |
|------------|-------------------------------------|----------|--|-------|-------|-------|-------|
| | | 目標値(R04) | H30年度 | R01年度 | R02年度 | R03年度 | R04年度 |
| 1 町道側溝整備延長 | 平成30年度以降に新設する雨水・生活排水に機能する側溝の整備延長(m) | - | 708 | 810 | 703 | 584 | |
| | | 3,500 | ○ | ○ | ○ | × | |
| 2 | | | ↑5か年で3,500mを目標値としているので、年間700mであれば達成していると考え | | | | |
| 3 | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | |

| 前年度の評価を踏まえた今年度の課題 |
|---|
| 1)2) 橋梁の長寿命化を図ることを目的とした予防的修繕を行うことで、事業費の縮減と平準化を図ることができた。また、安心・安全に住み続けられるまちづくりに向け、地区要望に基づき生活道路における交通安全施設の設置を行っているが、限られた財源の中で地区要望の全てを満たすことは年々困難になってきているため、より一層の集中と選択を行う必要がある。 3) 実証運行に向け準備を進めていく。 |

| 前年度の評価を踏まえた今年度の改善策・方針 |
|--|
| 1)2) 主要町道に架かる8橋梁については、既に橋梁の長寿命化修繕計画に基づく修繕工事が完了し平成29年度修繕計画を策定した7橋梁を計画的に修繕工事を行い、ライフサイクルコストの縮減をする(R1:白雲寺東橋・新田橋 R2:突田橋・迫間橋 R3:74号橋・なかよし橋 R4:73号橋)。また、生活道路における整備については、地区要望と学校からの通学路交通安全施設要望の全てを満たすことは難しいため、今後はより一層の優先度と効果の点から検証を行っていく。 3) 実証運行の開始に向け、運行主体となる事業者の選定や、住民への周知を行う。周知に当たっては広報誌やホームページでの周知に加え、必要に応じて地区説明会を開催し、多くの人が利用できるようにする。 |